

このたびは Umbrella Company / The Fader Control をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用いただくために、ご使用前に本取扱い説明書をよくお読みください。

電源について

付属の 24V 電源アダプターを接続します (付属の電源アダプター以外は使用しないでください)。背面のトグルスイッチで電源を ON/OFF します。

オペレーションモードについて

The Fader Control は 2 つのオペレーション モード (Output Mode と Input Mode) によって、各部のコントロールの機能が切り替わります。以降のモードごとの説明をご参照ください。

Output / Input Mode の切替方法

■ Output Mode に設定する

1. 一休全体の電源を OFF にしてください
2. 前面部の一連下のボタン (MONO-ST / OUT SEL) を押しながら電源を入れ、必ず「電源を入れた数秒」程度ボタンを押し続けてください。
3. ボタンの青色 LED が下から上へ流れるように動きます。これで設定は完了です

■ Input Mode に設定する

1. 一休全体の電源を OFF にしてください
2. 前面部の一連上のボタン (F KEY / REF) を押しながら電源を入れ、必ず「電源を入れた数秒」程度ボタンを押し続けてください。
3. ボタンの LED が上から下へ流れるように動きます。これで設定は完了です

起動時にボタンの LED が上から下 (または下から上) へと動くことで、現在どちらのモードになっているかを確認することが出来ます。また次回起動時には前回のモードで起動します。

Output Mode 時の各種機能の説明

DA 変換システムのコデック・コントローラーとしてお使いいただける機能もサポートしています。

起動時にボタンの LED が下から上へ流れ Output Mode であることを示します。

■ 背面部

・ INPUT A/B

LINE の入力端子、XLR バランス入力です。オーディオ・インターフェイス出力などのラインレベル信号を入力します。INPUT A は L チャンネル、INPUT B は R チャンネルの入力となります。

・ OUTPUT A/B

LINE の出力端子、XLR バランス出力です。パワーアンプを介し、パワースピーカーに接続します。OUTPUT A は L チャンネル、OUTPUT B は R チャンネルの出力となります。

■ コントロール部 (アウトプットモード時)

・ フェーダー

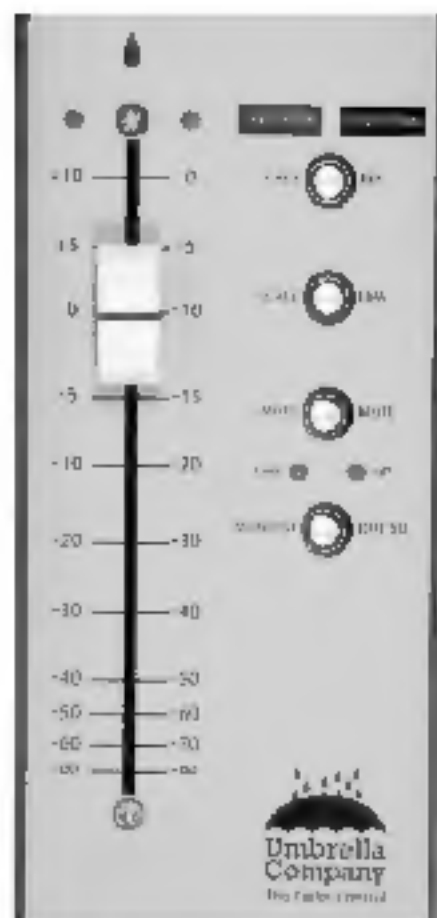
音量調整を行うスライドフェーダーです。Gain スケールで動作します。

・ REF (リファレンス・レベル)

フェーダーがどの位置にあっても予め設定したリファレンス レベルを呼び出し、ボタンの表示 LED が点灯します。もう一度ボタンを押すとフェーダー位置の音量に戻ります。

このボタンの長押しでリファレンスレベルを調整出来ます。

1. 長押しでキャッププレーション モードに入ります (表示 LED が点灯) (再度ボタンを押すと通常モードに戻ります)
2. フェーダー位置で表示のリファレンス レベルを設定します。
3. 再度このボタンを長押ししてキャッププレーション モードを終了。同時に設定が保存されます。



・ Dim (ディマー)

このボタンを押すと Dim が機能し、現在のフェーダー位置の音量から、設定した Dim 量分をアッダネートします。この両ボタンの表示 LED が点灯します。もう一度押すと解除します。

このボタンの長押しで Dim 量の設定が可能です。操作方法はリファレンス・レベルの設定と同様です。Dim 量を -20dB に設定したい場合は現在の位置から -20dB 下げて、(再度ボタンを長押しして) キャッププレーション モードで完了設定を保存します。(ボタンを押すと設定をキャンセルし通常モードに戻ります。長押しで設定を保存できます。)

・ Mute (ミュート)

押すたびに Mute / 解除が切替わります。

Mute ボタンにはキャッププレーション機能はありません。

・ OUT SEL (アウトプットセレクト)

同レベルの音声出力へ出力する L 側と、本機前面部ヘッドホン端子へ出力する HP へ切り替えます。OUT SEL ボタンを押すことで、LINE と HP が切り替わります。

[LINE セレクト時にはフェーダーで音量調整を行います。またヘッドホン出力はミュートされます。

[HP セレクト時には「HP VOL モード」と「FADER + HP VOL モード」の 2 タイプの音量調整モードを選択できます。

● HP VOL モード = フェーダーの位置に関係なく、ヘッドホンの音量を HP VOL ノブだけで調整します。

● FADER + HP VOL モード = フェーダーと HP VOL の両コントロールで、ヘッドホン出力の音量を決定します。LINE/HP 間の音量バランスを調整したい場合や、フェーダーでヘッドホン出力の音量調整を行いたい場合などに利用できます。

「HP VOL モード」と「FADER+HP VOL モード」を切り替えるには、OUT SEL ボタンを押下してキャリブレーションモードに入ります（点灯した直後直下のHP、LINE、OUT SEL の3つのLEDが点灯します）。OUT SEL を押下し、LED が点滅アクションが実行し、現在のモード状態を示します。

● HP VOL モード → LED の点滅アクションがLINEとHPを区別するパターン時には「HP VOL モード」です。この状態でOUT SEL ボタンを再度長押しすると「HP VOL モード」が実行され、キャリブレーションモードを終了します。設定は電源を切っても保持され、再電源投入時に再実行されます。

● FADER + HP VOL モード → LED の点滅アクションがLINE+HPとOUT SEL を区別するパターン時には「FADER + HP VOL モード」です。この状態でOUT SEL ボタンを再度長押しすると「FADER + HP VOL モード」が実行され、キャリブレーションモードを終了します。設定は電源を切っても保持され、再電源投入時に再実行されます。

■ 前面パネル

・ヘッドホン出力端子

LINE/HP どちらを接続している場合は自動的にミュートになります。

・ヘッドホンボリューム

ヘッドホンの音量を調整します。音量調整でモードにより調整方法が異なりますが上記 OUT SEL の項目を参照ください。

Input Mode 時の各種機能の説明

マイクアンプ部からの信号やラインレベルの信号を入力し、信号時のレベルに最適な増幅倍率とすることができ、オペレーションタイプ「モノラル」「ステレオ」を選択可能です。起動時にボタンのLED が点灯して、INPUT MODE であることを示します。

● INPUT/OUTPUT モード切替に付いては後述の「Output Mode / Input Mode の切り替え方法」を参照ください。

■ 前面部

・INPUT A/B

ラインレベルの信号を入力します。オペレーションタイプにより位置が異なります（後記する MONO/STEREO 切替を参照してください）。

オペレーションタイプ「Mono」では INPUT A に入力します。INPUT B は無効です。

オペレーションタイプ「Stereo」では INPUT A は L チャンネル、INPUT B は R チャンネルの入力となります。

・OUTPUT A/B

ラインレベルの信号を出力します。オペレーションタイプにより位置が異なります。

オペレーションタイプ「Mono」では OUTPUT A は Variable Output（可変レベル）、OUTPUT B は Fixed Output（固定レベル）となります。

オペレーションタイプ「Stereo」では Variable Output（可変レベル）となります。

■ コントロール部（インプットモード時）

・FKEY（ファンクションキー）

・ユニティ・レベル・インジケータ

誤操作防止のため、他のボタンの機能を代替するボタンです。録音作業中のフェーダー操作時に誤って MUTE、SCALE など他のボタンを押しても機能しないように、Input Mode 時には、FKEY ボタンと同様に各ボタンを押ししないと機能が有効にならないよう設計されています。

また、ユニティ・レベル・インジケータとしても機能します。フェーダーがユニティ・レベル位置にある時にこのボタンのLED が点灯します。この機能も有効にする事が可能です。詳しくは Scale の項目を参照ください。

・Scale（スケール）

フェーダーの両側に音量スケールの表示が通り、FKEY ボタンを押しながら SCALE ボタンを押すと、このスケールを切り替えます。フェーダー両側のスケール表記の一番上にあるLEDが点灯し、現在選択されている音量スケールを示します。

＋10dB 設定時はフェーダーの上部に設定されたスケールでの動作となります。0dB 設定時はフェーダーの右側に表記されたスケールでの動作となります。

また、SCALE ボタンを押下する事で、ユニティ・レベル・インジケータの有効/無効を切り替えることが可能です。

・Mute（ミュート）

Output Mode の MUTE と同様です。FKEY を押しながら MUTE ボタンを押すと出力がミュートされます。ただし、オペレーションタイプ「MONO」適用時の固定レベル信号（OUTPUT B）の出力は MUTE されない設計となっています（OUTPUT A は MUTE されます）。

・Mono/Stereo（モノラル/ステレオ）切替

FKEY を押しながら MONO/ST を押してオペレーションタイプを切り替えることができます。

オペレーションタイプ「MONO」では INPUT A に入力された信号は内部で分配され、フェーダーで無段階可変な可変レベル出力を OUTPUT A に、固定レベル信号を OUTPUT B に出力します。適用時のバックアップや OVE ボックスへの送りなどには利用できません。

オペレーションタイプ「STEREO」では、フェーダーで無段階可変な可変レベル出力を OUTPUT A と B に出力します。

オペレーションタイプ Mono では Mono/Stereo ボタンのLED が点灯します。オペレーションタイプ Stereo では LINE LED と HP LED の両方が点灯します。

■ 前面部

・ヘッドホン出力端子

INPUT MODE では機能しません。

・ヘッドホンボリューム

INPUT MODE では機能しません。



MONO モニター・モード

Output モードで INPUT A に入力したモノラル信号を、LINE/HP 出力の L/R 両方に出力できます。素材の機軸などに合わせて広くと便利です。「MONO モニターモード」に設定するには、一度電源をオフにし、DIM と MUTE ボタンの両方を押しながら電源をオンにしてください。MONO モニターモードを終了するには電源をオフにするだけです。再度オンにするとおなじ通称の Output モードで立ち上がり、MONO モニターモードは終了されます。